

調 査 料 金 表

令和2年 6 月 15 日 (2020/6/15) より全調査カテゴリ一適用

目次

第 1 章	探偵調査の費用の考察	3
	1、調査料金について	
	2、平均相場の理由	
	(1)費用と実務上の期間	
	(2)費用と設備	
	3、著しく安い調査料金設定の業者には注意が必要	
	4、著しく高い調査料金設定の業者には注意が必要	
第 2 章	T.I.U.総合探偵社の調査料金の成り立ち	7
	第 1、調査料金の考察	
	1、フェアな料金帯を維持するために	
	第 2、調査のタイミングなど	
	1、浮気調査のタイミングについて	
	2、浮気調査の費用と基準	
	(1)収入や貯蓄と連動するか？	
	(2)何を基準として適正料金と言えるのか？	
第 3 章	浮気調査 / 素行調査 料金表	10
第 4 章	機動調査 料金表	12
第 5 章	所在調査 料金表	13
第 6 章	行方調査 料金表	14
第 7 章	盗聴器盗撮機器発見調査 料金表	15
第 8 章	調査料金の他に調査に必要な費用	16

第 1 章 探偵調査の費用の考察

第 1、調査料金について

1、調査料金相場

社団法人東京都調査業協会によれば、調査料金の平均帯は、「1 時間あたり 2 名 15,000 円～20,000 円」と公表されています。これは、実態に基づきアンケートなどで割り出された平均的な料金帯です。

2、平均相場の理由

(1) 費用と実務上の期間

探偵調査の料金は、一見、高いように感じるかもしれませんが、調査においては、調査の実務業務のみならず、報告書の作成時間や画像や映像の編集作業も含まれていますから、仮に実際、8 時間の調査を依頼した場合でも、探偵業者は「実務調査 8 時間」「調査現地までの移動往復時間 2 時間」「調査報告書作成時間 2 時間」「画像編集、映像編集 4 時間」「下見等準備調査期間 2 時間、それに伴う往復 2 時間」というように、依頼した期間の 2～3 倍の時間を要することになります。

また、ほとんどの探偵社は、相談を無料にしていますが、相談を受けている期間は当然ながら無給というわけにはいきません。

このように一見、短時間の調査であっても、調査開始から終了、そして、報告という流れの中には、その完成のために要する時間は、それ相応に掛かっているのです。

（２）費用と設備

体一つでは調査はできません。例えば、行動調査の場合、証拠として残すために、必ず「カメラ類」が必要になります。

調査現場では、一眼レフの他にもビデオカメラやそれに伴うレンズ、長時間調査に耐えるように追加バッテリーや記録メディア、調査スタッフ間の連携に必要な通信機器類、録音機や高感度マイク、撮影光量を確保するための、不可視光タイプの赤外線ライトなど様々な調査機材を使用します。

同様に、調査現場に簡易的な拠点や追跡に必要な調査車両（普通車タイプやオートバイ、ロードレーサー）なども必要になってきます。

そして、技術は常に発展しますし、機械にはメンテナンスや寿命がありますから、安定した調査を維持するためには、こうした機材に関する費用も一部、調査料金に反映しなければなりません。

3、著しく安い調査料金設定の業者には注意が必要

前述のように、安定した調査、品質を維持するための費用は必ずかかります。このような費用を、捻出するには、一部を調査費用に按分する必要があります。

あまりに安い設定の場合でよくあるケースは下記の通りです。

- ・ 事務所がない個人事業者
- ・ 車両代金や調査報告書作成料金が異常に高い
- ・ 副業開業者でプロ意識が欠けている
- ・ 調査員が調査経験のない素人アルバイト
- ・ 実際調査は 1 名で行っていても、3～6 名で行っているように見せ掛ける
- ・ 調査経費が異常に高い
- ・ 解約ができない
- ・ 実務調査を行わない

など、一部詐欺行為と言っても過言ではない被害ケースがあります。

4、著しく高い調査料金設定の業者には注意が必要

調査の見積もりが電話ではできない業者やメールで回答してこない業者、調査料金表や料金の具体的な目安を表示していない業者は、一様に高額な費用を請求する調査業者と判断して間違いありません。

このような場合、下記のようなケースが報告されています。

- ・カウンセラーと名乗る中年の女性探偵に囲まれて、契約しないと帰れないようなシチュエーションになった。
- ・高いので払えないと断ったのに、ローンを契約させられた。
- ・1 か月 500 万円、もしも浮気が無かったら、200 万円返すと言われた。後で考えれば、調査をしなくても業者は 300 万円丸儲け。
- ・どこに頼んでも、結局はポッタくられるだけだと脅された
- ・カウンセリング代も含まれると言われたが、担当のカウンセラーはいつも不在。
- ・1 か月の調査という契約であったが、実際は 1 週間しか調査をしていなかった。
- ・証拠が撮れたのに解約できないと言われて、無駄な調査を実施させられた。
- ・他の業者に見積もりを頼んだら、半額以下であったので、調査実施の前に解約を申し込んだが、応じてくれなかった。
- ・低料金と謳っている

探偵調査業に関する消費者被害は年間 1000 件を下りません。このほとんどが、このような異常に高い調査料金設定の業者によるもので、解約ができなかったり、消費者が誤認するような契約方法であると報告されています。

このからくりは、異常に高い広告費が調査料金に上乗せされているからです。ネットユーザーであればよく目にする検索結果と連動して表示される広告費は特に探偵調査業では高騰しています。

「探偵」や「浮気調査」と検索窓に打ち込み、検索ボタンを押すと、無数のホームページが検索結果として表示されますが、PCモニターでいうと、上枠、下枠、右枠で若干色の違う検索表示が広告表示枠です。上枠の3つのサイトが、その検索キーワードに対し、高額の入札をしたサイトで、その順位は右枠へ続きます。

この検索キーワード連動型広告は、1 クリックに対し高額の入札をしたサイトが上位表

示される仕組みになっています。探偵業について、人気のキーワードは「探偵」と「浮気調査」ですが、この 1 位表示のための入札金額は 1 時期、1 クリック 12,000 円になっていました。これが月間で数万件クリックされるわけですから、広告費は相当な金額になってしまいます。

このような広告費は、調査契約が成約したら支払われるものではなく、クリックベースで費用が加算されるものですから、莫大な費用が必要になります。この莫大な費用は、結局唯一の収益となる調査費用に上乘せしなければなりません。

こうなると、消費者には耳触りの良い言葉を並びたて、芸能人等を使って印象に残るようにブランディングを行い、実際に相談にきた消費者には、できる限り高い調査料金を取るというシステムにしなければ、利益は出ないでしょう。当然、消費者被害になると予見されていても、解約などには応じるわけにはいかないでしょう。

このように、調査に関する見積もりを比較検討する場合、調査費用としての数字のみに捉われてはなりません。

第 2 章 T.I.U.総合探偵社の調査料金の成り立ち

第 1、調査料金の考察1、

フェアな料金帯を維持するために

T.I.U.総合探偵社では、四半期に一度の割合で、料金についての適正化のための会議を行っています。これは、社会環境の変化や調査機材の開発が進み、いくつかの費用が削減できると判断できたり、過去事例から細分化された費用などを算出し、調査のクオリティを下げず、ユーザーとフェアにサービスと費用面のバランスを考察して検討しています。

第 2、調査のタイミングなど

1、浮気調査のタイミングについて

多くのご依頼者様は、ピンポイントで調査を行いたいと考えていますが、ほとんどのご依頼者様が指定した調査日において、空振りする率が高いという現状があります。

また、ご依頼者様のスマートフォンから情報が漏えいしていたり、タブレットやパソコンから情報が漏えいしているケースも散見されます。

とはいえ、探偵業者側で調査日を勝手に設定し、調査をした場合、空振りについて誰が負担するのかという問題がありますので、弊社では勝手に調査日を設定することは致しません。

浮気の証拠収集に、最も効果的なのは、数日間の期間を設定し、弊社担当者のご依頼者様の協議によって、調査実施を決定するプランです。また、連続調査ではなく、毎週金曜日などと決めて定期的な調査を実施した場合、追跡によって浮気の現場をpushされる率が高くなります。

仮にピンポイントで調査日を決めたいが、行動が読めず、調査日を決定することが難しいという場合は、その方（調査対象者）の行動や浮気相手の性質、環境など様々な要因から、ピンポイント調査は適性がないと判断するのが妥当です。

2、浮気調査の費用と基準

(1) 収入や貯蓄と連動するか？

収入と調査費用が見合う場合の主な要因は、いくつかありますが、同居しており夫婦の生計が同じ場合が多いと言えます。

この場合、同居により、一方の配偶者の行動時間が判明しやすく、浮気をする時間帯や日時の特定制がしやすいという特徴があります。

また、収入としての生計が同じですから、浮気デートなどに使う予算に制限があるため、行動範囲の選択肢が狭いという特徴があります。

ただし、このような条件が整っていても、朝帰りや休日出勤が普段から多いと、日時の特定は困難です。また、営業職などで、日中の勤務時間などが自由に行動できてしまう場合なども、日時の特定が困難です。

また、浮気相手が財布を握っている場合、資金的な部分で制限がないため、行動範囲が広がります。こうした要因から考察すると、収入や貯蓄と調査費用は必ずしも連動しないという結論となります。

(2) 何を基準として適正料金と言えるのか？

どこまでの期間や何人の人員を使い、証拠をつかむのか？という純粋な費用を適正な料金と考えるのが妥当でしょう。

この場合、もっとも費用が掛かると考えられるのが人件費です。もし、仮に貴方が探偵だとして、長く働けば働くほど、給料が安くなるとしたら、どう考えるでしょう。通常、労働に伴う費用は、規定の時間を越えた部分に関しては、残業代となり、それは基本給などの按分から割増を受けるはずで

しかし、ユーザー側からすれば、多くのサービスを受ける契約をすれば、その分、割引を受けたいと考えるのが普通でしょう。

企業側は、ボランティアではありませんから、多くの人件費を払ったのに、長期間だから消費者側には割引をするという状態では、次々に倒産してしまいます。この状況となるのであれば、サービスの度合いは低下するのが当然の流れです。

適正料金を考察する場合、どのようなサービスも同様ですが、適度な利益とユーザー側目線を考慮した費用のバランスが整備されているという料金帯があるということでしょう。とはいえ、探偵業に関して、そのバランスを消費者側が事前に知ることは困難で

す。そこで、活用できるのが、社団法人東京都調査業協会が公開している調査料金の平均料金帯です。資料によれば、2005年3月時点のアンケートで、「2名1時間15,000円～20,000円未満」とされています。

つまり、1時間1名とする場合、「7,500円～10,000円未満」が妥当な金額となります。

例えば、行動パターンとして、徒歩で自宅から出掛け、電車に乗って待ち合わせの場所に行き、待ち合わせの場所で浮気相手の車に乗るとします。この場合、その待ち合わせ場所が確定的であれば、同様に車を待ち合わせ場所に待機させ、追跡に備えればよいでしょうが、その場合は浮気相手を特定するための情報が必要になります。ほとんどのケースでは、待ち合わせ場所は確定的ではないので、自宅からの徒歩追跡に合わせて、徒歩の調査人員が2名必要でしょう。しかし、待ち合わせ場所で、車に乗り込まれてしまうと、徒歩で追跡するのは不可能です。このような場合は、オートバイか普通車を現場近くで巡回させ、徒歩の調査員と連絡を取ってもらい、早期に追跡行動に移行してもらえるように人を配備しておく必要があります。このように、ケースによっては、人員を3名以上、車両などを配備しておかなければ、追跡はできません。

つまり、個々人の行動パターンに合わせて、人員の配備、車両などの配備をする必要があります、それによって費用が増減するのです。

このように、製品のように浮気調査〇×円と決めてしまうのは困難です。ですから、無料相談・見積もりによって、詳しい状況を聞き取ってからお見積もりをする仕組みとなっているのです。

第 3 章 素行調査 浮気調査

1、はじめて調査を依頼する方へ

T.I.U.総合探偵社では割引制度をご用意しております。標準料金表は、あくまで調査費用の標準化を目的とするものです。

調査のお見積もりは無料ですので、まずはお見積もりをご請求ください。

(1) 基本料金プラン

基本料金プラン（基本料金＋時間料金）調査人員2名から

期間	人員	料金	時間料金
1日1稼働	2名	50,000円	9,000円/30分間

基本料金内に調査車両1台、調査報告書1部、動画静止画編集費用が含まれます。
簡易の下見調査が含まれております。

(2) 割引制度

T. I. U. 総合探偵社では、各種割引制度をご用意しています。

① モニター割

調査モニターとして所定の対応をして頂くことで割引が受けられます。

② 紹介割

紹介や提携団体からの案内で割引が適用されます。

③ プロモーション割

T. I. U. 総合探偵社のプロモーションにご協力いただくことで割引が受けられます。

④ 特別料金プラン

面談契約を担当する責任者により合議で決定できる特別料金プランをご提供できます。

2、通常調査料金（パッケージ料金）

スタンダードプラン：調査人員3名

プラン	時間（期間）	料金	延長 30 分
パックプラン 20	20 時間（1 ヶ月）	600,000 円	30,000 円
パックプラン 30	30 時間（1 ヶ月）	900,000 円	27,000 円
パックプラン 50	50 時間（2 ヶ月）	1,470,000 円	25,000 円

※すべての調査プランは調査員 3 名です。

※パックプランでは 1 回の調査出動で 5 時間以上とさせていただきます。

※調査対象者の切り替えに対応しています。

ライトプラン:調査人員2名

プラン	時間（期間）	料金	延長 30 分
パックプラン 30 light	30 時間（1 ヶ月）	700,000 円	12,000 円
パックプラン 50 light	50 時間（1 ヶ月）	1,000,000円	11,000 円
パックプラン 60 light	60 時間（2 ヶ月）	1,200,000円	10,000 円
パックプラン 90 light	90 時間（2 ヶ月）	1,700,000円	9,800 円

※すべての調査プランは調査員 2 名です。

※パックプランでは 1 回の調査出動で 5 時間以上とさせていただきます。

※調査対象者の切り替えに対応しています。

<オプション>

オプション	期間	数	料金
車両（普通車）	1 日	1 台	10,000 円
車両（二輪車）	1 日	1 台	10,000 円
自転車※	1 日	1 台	5,000 円
GPS 機器	1 週間	1 台	20,000 円
	設置取外交換	1 回	15,000 円
出張宿泊費	1 泊	1 名	10,000 円
調査員増員	1 時間	1 名	10,000 円
下見調査	1 回	—	60,000 円
追加報告書	—	1 部	30,000 円
画像パック	—	16GB	25,000 円
登記簿取得	—	一筆	1,000 円

※自転車使用時は遠方の場合、別途、運搬車両費（1 日 10,000 円）が必要です。

第4章 機動調査

1、裁判所報告書関連

裁判所からの送達に関して、居留守で受け取らない相手や行方不明となった被告（相手方）に関する送達手続に必要な調査報告書を作成します。

付郵便送達のための調査報告書

期間	人員	料金	別途費用
1日間	1名	45,000円	現地までの実費交通費・証書類印紙代の実費
3日間	1名	126,000円	現地までの実費交通費・証書類印紙代の実費

公示送達のための調査報告書

期間	人員	料金	別途費用
1日間	1名	60,000円	現地までの実費交通費・証書類印紙代の実費
3日間	1名	168,000円	現地までの実費交通費・証書類印紙代の実費

<オプション>

オプション	期間	数	料金
車両（普通車）	1日	1台	10,000円
出張宿泊費	1泊	1名	10,000円
追加報告書	—	1部	10,000円
画像パック	—	16GB	25,000円
登記簿取得	—	一筆	1,000円
確定日付サービス	—	1部	10,000円

その他、一点ポイントなどを確認して調査報告書作成をしたいというご要望の調査は、上記に勘案し最適なプランを提案します。

第 5 章 所在調査

1、勤務先や自宅の割り出しを目的とした調査

所在調査は、特定される調査対象者が確実に確認できる日時と場所をご指定頂き、勤務先や立ち寄り先、自宅住所などを割り出す調査です。

調査の方法により費用が異なります。

尾行による判明

	着手金	成功報酬金	経費	調査回数
スタンダード	100,000 円	150,000 円	交通費実費	最大 3 回
ライトプラン	84,000 円	84,000 円	交通費実費	最大 2 回

聞き込みによる判明

	着手金	成功報酬金	経費	調査地域
スタンダード	70,000 円	100,000 円	交通費実費	1 ヶ所

第 6 章 行方調査

1、失踪人や家出人を捜索し、居所を判明させる調査

家出人や失踪人の現在居所を判明させる調査です。主な調査手法は聞き込みや張り込みと言った調査の他、膨大な資料から特定人の痕跡を追う情報収集調査などを含んでいます。

プラン	難易度	期間	着手金	成功報酬
ライト	低	1 ヶ月	150,000 円	300,000 円
スタンダード	中	1 ヶ月	300,000 円	450,000 円
ハード	高	2 か月	900,000 円	900,000 円
スペシャル	特殊	1 ヶ月	980,000 円	1,260,000 円

調査対象者との関係次第でお受けできないケースもあります。

調査難易度については、情報量、居所不明状態からの経過期間、調査地域、対象者年齢、性別といった様々な点から総合して判断いたします。

2、ポイントだけ調査員のサポートや同行をする調査

調査員サポート（同行派遣）

期間	人員	料金	延長 1 時間
1 日 6 時間	1 名	55,000 円	8,000 円

第 7 章 盗聴器・盗撮機器発見調査

1、仕掛けられた盗聴器や盗撮機器を発見する調査

広域周波数検知や方式別検知が可能なプロ仕様の盗聴機器盗撮機器発見調査です。主な条件は、調査範囲の広さとなります。

プラン	調査料金	追加 (10 m ²)
集合住宅 (～50 m ²)	45,000 円	3,000 円
一戸建て住宅 (～50 m ²)	60,000 円	5,000 円
オフィス (～50 m ²)	60,000 円	10,000 円

<オプション>

オプション	期間	数	料金
出張費 (東京都・神奈川県を除く関東地方)	1 日	2 名	10,000 円
出張費 (その他の地方)	—	2 名	お問合せ

2、車両に仕掛けられた位置情報機器の検索

車両に設置された GPS 通信機器や録音機材などを検知する調査です。

プラン	調査料金
車両 GPS (バイク・普通車)	45,000 円
車両 GPS (大型車以上、外国車)	60,000 円

第 8 章 調査料金の他に調査に必要な費用

調査料金の他に必要となる費用

調査経費	調査中の移動交通費、有料施設利用料が調査経費となります。 また、調査現場までの往復交通費も含まれます。
消費税	調査経費を除く全ての料金に消費税がかかります。

<用語の説明>

・通常調査機材とは

ビデオカメラ、小型カメラ、調査員間通信機器

・専門調査機材とは

デジタル式カメラ、ビデオカメラ、超小型偽装式カメラ、録音機器、バッテリーパック
調査員間通信機器、位置情報システム端末、オンタイム周辺情報システム

・簡易電子報告

時系列日報、調査により得られた写真数点（ハイライト）を PDF にしてメール添付もしくはファイル交換によって報告する簡易型報告

・通常報告

時系列の詳細な行動やそれに関する写真がセットになっている証明力の高い調査報告書です。